シラバス（国語科）【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	国語総合	学年	1	使用教材	教科書	精選国語総合	大修館書店
		必履修の別（必・選必・ｺｰｽ選）	必		副教材	常用国語便覧	浜島書店
						新版完全制服　頻出　入試漢字コア2800	桐原書店
						シンプルスタイルシリーズ　古文単語301	尚文出版
						新修　古典文法二訂版	京都書房
						ドリル篇　新修古典文法　二訂版	京都書房
						基礎から解釈へ　漢文必携　四訂版	桐原書店
学科	国際文科 理数科 普通科	単位数	5 4 5			基礎から解釈へ　漢文必携　四訂版　チェックノート	桐原書店
						進研WINSTEP　現代文1　改訂版	Learn－S
						進研WINSTEP　古典1　改訂版	Learn－S
系統科目	現代文B（2年必・2単位、3年必・2or3単位）、古典B（2年必・2単位、3年必・2単位）						

【学習目標】

○ 高校国語学習の土台作りに主眼を置き、既習分野をしっかり定着させた上で、国語によって伝え会う力を高めることを重視し、漢字力、読解力、思考力、表現力を伸ばしてゆく。

【学習方法のポイント】

○ 国語総合では現代文・古文・漢文の基礎・基本の定着を図ります。各分野の基礎力を確実につけましょう。
○ 定期的に課題等を課すことがあります。確実に提出するようにしましょう。
○ 定期テスト以外に「漢字・古文単語・漢文句法テスト」等を実施します。学習の定着の度合いを各自確認するようにしましょう。
○ ノート・ワークシート等はきちんと整理して、テスト前に振り返りが出来るようにしましょう。
○ 漢検準2級程度の漢字・語彙力を身につけるように努力しましょう。

【学習評価と観点】

○ 次の5つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、すすんで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。
②話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
③書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。
④読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じてさまざまな文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
⑤知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、伝統的な言語文化や国語の特質に関する知識を身につけている。

評価方法／観点	①	②	③	④	⑤	備　考
学習状況観察	◎	◎	―	○	○	自己評価の実施
ノート・ワークシート	◎	―	○	○	―	誤答レポートを含む
課題レポート等	○	―	○	○	―	長期休業中の課題を含む
作文等	―	―	○	○	―	作文、創作作品、感想文
定期考査等	―	―	◎	◎	◎	中間・期末（1，2学期）、学年末（3学期）

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

○ 学習の記録を活用することで、自らの国語の学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期ﾃｽﾄ範囲（目安）】※追加・変更することもある。

			教科書（単元）	備　考
	1学期	中間	随想、評論、古文入門	漢字、古文単語、古文文法（用言①）
		期末	評論（一）、小説（一）、随筆（古文）、漢文入門	漢字、古文単語、古文文法（用言②）、再読文字
	2学期	中間	評論（二）、小説（二）、物語・日記（古文）、古代の史話（漢文）	漢字、古文単語、古文文法（助動詞①）、漢文句法①
		期末	日本語、さまざまな文章、軍記（古文）、唐代の詩文（漢文）	漢字、古文単語、古文文法（助動詞②）、漢文句法②
	3学期	学年末	評論（三）、小説（三）、和歌・俳諧（古文）、思想（漢文）	漢字、古文単語、古文文法（和歌の修辞）、漢文句法③

【学習サポート】

○ 偏差値帯に応じたクラス編成や放課後講座を実施し、学力に応じたサポートを行います。
○ 豆テストは追試を行い確実な「基礎・基本の定着」を図ります。